

# 高次システム化対応教育プログラム ～建築・土木産業に関わるビジネスの技術経営(MOT)講座～ 受講生募集のご案内 環境・社会理工学院 実施

講演会・プログラム説明会(参加無料)  
第一回: 8月21日(火)19:00  
第二回: 9月13日(木)19:00  
東工大 田町キャンパス 310教室

## ご挨拶

社会の持続的な発展を実現するために、そして企業や産業が展開するために、より高次のシステムを創造すること、すなわち、複数の既存産業の技術やビジネスを集積して、それらの上位に新しいシステム(高次システム)を実現し新たなビジネスを創造することが求められています。

そのためには、既存の分野で高い専門性を有する人材が、他分野の知識・知見を習得し、新たなイノベーションの担い手になることが求められます。本プログラムは平成29年度 文部科学省「高度専門職業人養成機能強化促進委託事業」での成果を踏まえて実施するもので、専門性を持つ職業人自らが専門とする分野の産業上の位置づけを理解し、隣接する他分野(非専門分野)の知識に触れることで、将来身につけるべき知識が何であるかを知るための教育プログラムです。昨年度につづき、建築・土木産業の次代を担う方々を対象に、建築・土木産業に関わるビジネスを俯瞰するためのプログラムを開講いたします。



環境・社会理工学院 副院長 プログラム総括 藤村 修三

## 募集要項

### プログラム受講期間

2018年10月～2019年4月

毎週1回 全28回 木曜 19時～21時(予定)

※科目の一部は、ほかの曜日(土曜日を含む)になります。

※講義の他、課題等の提出を前提とした自己学習を想定しています。

※科目によっては、内容が一部変更になる場合があります。

### 受講対象者

専門分野に関わる一通りの技術を身につけた若手技術者であって、キャリア形成を図り、高次システム化に対応できる次代を担う社会人の方。

※専門分野として建築、土木・環境工学系を想定していますが、非専門の方でも理解できる内容としています。

### 受講場所

東京工業大学 田町キャンパス

東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター  
(JR田町駅 芝浦口 徒歩2分)

※実験を伴う一部の科目は大岡山キャンパスになります。

### 募集人員

20名(最少実施人員数:15名)

### 受講料

297,000円(税込)

※お支払方法は振込みにて本プログラム開講迄にお願いする予定です。  
お振込後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

### 申込み期間

受付開始:2018年7月18日(水)

一次締切:2018年9月6日(木)17:00

最終締切:2018年9月20日(木)17:00(締切日必着)

### 申込み方法

願書に必要事項をご記入のうえ下記事務局宛お送りください。申込み用紙はサイトからダウンロードできます。

URL: <http://www.fujimura-lab.mot.titech.ac.jp/index.html>

### 受講審査・受講通知

志望理由書等に基づく書類審査をいたします(申込順)。

受講通知については、メールにてご連絡いたします。

(後日、受講認定証を通知)

### 修了認定

修了者には「修了証書」を交付する予定です。評価については出席状況などを含めて行います。

### お問い合わせ

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 CIC 907N

東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系

高次システム化対応教育プログラム事務局(藤村研究室)

E-mail: [sle-info@mot.titech.ac.jp](mailto:sle-info@mot.titech.ac.jp)

## プログラムの特長・学習形態

- ・高次システム化対応リテラシーとして、技術経営およびビジネス分析の基本(イノベーション論、コミュニケーションデザイン、クラウドソーシング、サービスイノベーション、エコシステム論、技術倫理など)を学びます。
- ・専門分野では修士レベルの基礎(実験などを含む)から最新の建築、土木・環境工学系技術、および融合理工学系分野まで俯瞰的に学びます。また、ビジネスの実際を事例で学びます。
- ・講義だけでなく、グループ討議やグループ課題発表など自ら学ぶ意欲を前提とした学習形態になります。

## スケジュールと担当講師

所属の\*は東京工業大学 環境・社会理工学院を示す。

回	月/日	曜日	場所	科目区分	テーマ・科目名	担当講師	所属	
1	10/1	月	田町	MOT	ガイダンス、イノベーション論、共通課題提示	藤村 修三	*イノベーション科学系教授	
2	10/11	木	田町		コミュニケーション・デザイン 1	西條 美紀	*イノベーション科学系教授	
3	10/18	木	田町		コミュニケーション・デザイン 2			
4	10/23	火	田町	ビジネスの実際	事例紹介1	作中 秀行	日本工営株式会社 技術本部長 技術士	
5	11/1	木	田町	建築学	社会的ストックの大切さを知る	山崎 鯛介	*建築学系 准教授	
6	11/8	木	田町		改修のすすめ	安田 幸一	*建築学系 教授	
7	11/15	木	田町		エンジニアリングで「もの」と「こと」を考える	横山 裕	*建築学系 教授	
8	11/22	木	田町		快適性を科学する	最近の建築構造設計と耐震・制振・免震技術	竹内 徹	*建築学系 教授
9	11/29	木	田町			建築と都市の「見え方」を設計する技術	中村 芳樹	*建築学系 教授
10	12/6	木	田町		都市・大学の未来を覗く	都市の快適環境とシミュレーション	浅輪 貴史	*建築学系 准教授
11	12/13	木	田町			人口減少時代の都市計画/都市の更新と再生	中井 検裕	*建築学系 教授
12	12/20	木	田町			都市の縮図としての大学キャンパス空間:計画とマネジメント	斎藤 直子 安田 幸一	*建築学系 准教授 *建築学系 教授
13	12/27	木	田町		持続可能社会を考える	水環境管理の基礎と新たな展開	吉村 千洋	*土木・環境工学系 准教授
14	1/10	木	田町			土木系グループワーク課題提示	真田 純子	*土木・環境工学系 准教授
15	1/17	木	大岡山		土木・環境工学	災害から社会を守る技術 地震災害を例に基礎から応用まで	盛川 仁	*土木・環境工学系 教授
16	1/26	土	田町			構造材料の基礎と最新技術	佐々木 栄一 田村 洋	*土木・環境工学系 准教授、助教
17	1/31	木	田町	地盤災害と地盤対策 - 基礎から最新技術まで -		北詰 昌樹	*土木・環境工学系 教授	
18	2/7	木	田町	社会インフラの維持管理・マネジメント 個別最適から全体最適へ		岩波 光保	*土木・環境工学系 教授	
19	2/14	木	田町	次世代インフラ・空間を考える	交通需要予測と交通調査の基礎理論	福田 大輔	*土木・環境工学系 准教授	
20	2/21	木	田町		交通ネットワークの分析と計画	朝倉 康夫	*土木・環境工学系 教授	
21	2/28	木	田町		システム論的アプローチ			土木系グループワーク結果発表・討論
22	3/7	木	田町	融合理工学	言語・アート・コミュニケーション	野原 佳代子	*融合理工学系 教授	
23	3/14	木	田町	MOT	持続可能な社会形成のための環境政策・計画 - 環境コミュニケーションと合意形成 -	村山 武彦	*融合理工学系 教授	
24	3/20	水	田町		エコシステム論	辻本 将晴	*イノベーション科学系 准教授	
25	4/4	木	田町		クラウドソーシング	比嘉 邦彦	*イノベーション科学系 教授	
26	4/11	木	田町		技術倫理	平野 琢	九州大学 講師	
27	4/18	木	田町	ビジネスの実際	サービスイノベーション	日高 一義	*イノベーション科学系 教授	
28	4/25	木	田町		事例紹介2	塚田 繁 桐山 恵理子	日本工営株式会社 専門部長 技術士 *特別研究員	
28	4/25	木	田町	共通課題発表・高次システム化対応に向けて		藤村 修三	*イノベーション科学系 教授	

## 講演会・プログラム説明会(参加無料)開催

第一回: 8月21日(火)、第二回: 9月13日(木)  
 時間: 19時~20時 場所: 東工大 田町キャンパス CIC 310教室  
 ・講演テーマ: 「産業の高次システム化とイノベーション」  
 ・講師: 東工大 教授 藤村 修三  
 参加申し込みはメールで受け付けします。「件名」「氏名」「所属先」を記載のうえ、実施日前日の17:00 までに事務局へお申し込みください。



東京工業大学

Tokyo Institute of Technology

環境・社会理工学院

高次システム化対応教育プログラム事務局

E-mail: sle-info@mot.titech.ac.jp

< 2018年7月作成 >